

一般社団法人 **モザンビークのいのちをつなぐ会 (PVM)**

2025-26年度重点活動

— 支援の光が届かないモザンビーク北部 —
**テロ紛争とサイクロン被害のただ中で
命を確実に守り、支援と経済の輪を創造する**

April / 2025



大阪の小学校との似顔絵交流。
届いた絵に大喜びのペンパ寺子屋キッズ。



2023年・2024年の表彰履歴とメディア

文部科学大臣賞

様々な分野で顕著な活躍
或いは成果を挙げた個人
又は団体に対し、文部科
学大臣の名により授与す
る賞。
文部科学省
2024年3月受賞



当会国内調整員
水淵と代表の榎本、
国内部門受賞の
JAMネットワーク。

第60回 社会貢献者表彰

社会と人々の安寧と幸福のために尽くし、
顕著な功績を挙げながらも報われる機会
の少なかった方々を表彰し、日本財団賞を
贈るもの。財団の会長は安倍昭恵さん。
公益財団法人社会貢献支援財団 (FESCO)
2023年11月受賞

財団会長の安倍昭恵さんと
当会代表榎本、寺子屋ディ
レクターのナジャ。



令和4年度 国際居住年記念賞

開発途上国における居住環境の
改善に向けた国際協力活動
を行っている団体に授与される賞。
一般社団法人日本住宅協会
2023年7月受賞



第27回 地球倫理推進賞

活動が営利を目的とせず、5年以上継続し
教育・文化・医療・環境・地域開発などの
分野において、地球倫理の推進に貢献して
いる団体を国内・海外各1団体表彰。
一般社団法人倫理研究所
2024年3月受賞



第1回 風に立つライオンオブ・ザ・イヤー

日本国内外で命や平和を守るために
献身的に活動している個人・団体を
表彰。財団設立者のさだまさしさん
の楽曲で、困難があっても強く、
人の命を助けたい、という生き方を
意味する「風に立つライオン」。
そのモデルとなった医師・柴田絨一
郎氏を冠し、海外で活動する個人・
団体を表彰する「柴田絨一郎賞」を
受賞。第1回の表彰です。
公益財団法人風に立つライオン基金
2023年11月受賞



風に立つライオン基金設立者のさだまさしさんと
当会代表榎本、寺子屋ディレクター・ナジャ。

NHK BS ナジャ <日本語>



『平和を願い歌う / ナジャ』
A Melodic Wish for Peace / Nadja

NHK
番組放送

NHK WORLD 榎本恵 <英語>



『教育を通じ貧困の連鎖を断ち切る / 榎本恵』
Breaking the Poverty Cycle Through Education:
Enomoto Megumi / CEO, Bridge for Lives in Mozambique



モザンビークのいのちをつなぐ会の役割

最貧国の最貧困地で

現地住民と一体となった直接活動を続けています。

- 国民の豊かさを表す「人間開発指数」で、モザンビークは193カ国中183位（2023/24年度、日本は24位）。
- モザンビークの首都から最も離れ、社会投資・社会支援が放置され「忘れられた州」と呼ばれるカーボデルガド州を拠点に活動。
- 貧困率が国内でも最も低いカーボデルガド州は巨大天然ガス開発で世界的注目を浴びるも、紛争が発生し、住民は命の危険にさらされたまま。
- この地で、私たちは、2013年からスラム地区の中心に住みながら現地有志総勢100名とともに地道な直接活動を続けています。

不可視化され、支援もされないエリア。

モザンビーク北部で活動を行う草の根NGOは当会のみ。

- 先進国が開発を進める中で社会問題が顕在化し、国連系機関や日本を含む開発国が多額の資金をモザンビークに提供。
- しかし残念ながら、スラムの住民たちにその国際支援が届くことは、ほとんどないのが現状です。
- グローバル資本主義の「支援・開発」に着目した、マネタイズ化（お金を稼ぐ仕組み）が拡大。
- 間接的な支援は実際に現地に届かない場合もあり、現地主体となった「直接支援」がますます重要になっています！

相互扶助の力を大切にしています



真っ当で実直な活動を続ける。

なおざりにされた人たちの命を確実に守り、力強く未来を拓く。

- 「生きる、学ぶ、創る」活動を通し、「今日を生きる」から「未来に生きる」生活の改善を行っています。
- 貧困地域で住民と同じ暮らしをすることで得られる厚い信頼を基盤に、ほんとうに住民が必要としている施策を実行。
- 住民一人ひとりの状況を把握し、机上の空論スピード主義ではなく、じっくり成長を促す発酵感覚で取り組んでいます。

イスラム過激派のテロ紛争に加えて、甚大なサイクロン被害。しかし支援の光は届かず。

自分たちの力で命を確実に守り「支援」と「経済」の循環を創造する

コミュニティのモデルづくり「小さな商いプロジェクト」を2025年から形にしていきます。



活動内容とスローガン

モザンビーク北部の支援の光の届かないエリアで 途切れることなく活動を続け、13年!!

教育活動

スラムの学び舎・寺子屋

スラムと避難民の子どもたち350人が通所

公衆衛生活動

コレラ・HIV予防

感染症による死亡率ゼロを達成中

水環境整備活動

井戸、共同水場整備

危機的かつ慢性的な水不足を解消

夢に近づく
挑戦!

環境保全活動

食べられる緑化、美化

環境問題と貧困問題を両立し改善

テロ紛争 サイクロン 被災者支援活動

避難施設整備

避難施設「平和の家」運営、家屋の修復

コミュニティ・ビジネス支援活動

小さな商いプロジェクト

支援と経済が循環するコミュニティのモデル創造

モザンビークのいのちをつなぐ会は「**小さいけれど、チカラ持ち!**」を
スローガンに、**スラム地区の100名のメンバー**とともに、社会支援のジレンマをおこさない、
実効力ある**直接活動**を、地道かつ確実に遂行する**真の草の根NGO**です。

活動エリア



カーボデルガド州
テロ紛争の激化が
世界的な懸念事項

【事務所・ペンバ寺子屋・平和の家】
モザンビーク最北部カーボデルガド州の
州都ペンバ

【ナンプラ寺子屋】
ペンバから車で南に5時間
ナンプラ州ナンプラ



首都は最南端に
位置するマプト

モザンビークのいのちをつなぐ会の施設

【カーボデルガド州・ペンバ】

- 事務所 (2013年～)
- ペンバ寺子屋 (2014年～)
- ナティティ平和の家 (2021年～)
- ◎エスパンサオン平和の家 (2026年から着手)
- ◎エスパンサオン共同水場 (2023年～)

【ナンプラ州・ナンプラ】

- ナンプラ寺子屋 (2021年～)

モザンビークについて

- 面積: 79.9万平方キロメートル(日本の約2.1倍)
- 人口: 約3,364万人(日本の約1/4) ●首都: マプト(人口約120万人)
- 民族: マクワ、マコンデ、ロムウェなど43部族
- 言語: ポルトガル語と各民族の言語(北部はマクワ語、マコンデ語等)
- 宗教: キリスト教(60%)、イスラム教(20%)、原始宗教
- 略歴: 1498年 ヴァスコ・ダ・ガマがモザンビーク島に到達
1752年 ポルトガルによりモザンビーク総督府設置
1964年～1974年(停戦)モザンビーク独立戦争
1975年 ポルトガルから独立
1977年～1992年(停戦)モザンビーク内戦

470年間 に渡る
植民地化の
愚民化政策で
生活の質が最悪に。

2017年～現在、モザンビーク北部でイスラム過激派による攻撃続発

- ◆平均寿命: 59歳(2022年) ◆出生率: 4.56人(2022年)
- ◆5歳未満の乳幼児死亡率: 7%(カーボデルガド州2015年)
- ◆5歳未満の発育阻害率(低身長): 44.5%(カーボデルガド州2022年)
- ◆15歳-49歳のHIV感染率: 11.6%(2022年) ◆1人当たりGDP: 618USD(2023年)

モザンビーク北部カーボデルガド州最大のスラム地区の真ん中に事務所を構えて活動継続中。

イスラム過激派の攻撃が激化する中、草の根活動を続けている団体は、モザンビークのいのちをつなぐ会、ただひとつです。



ペンバの地図



ナティティ・バンギア市場



路地の子ども



ペンバのお墓

<モザンビークのいのちをつなぐ会 施設所在地>
モザンビーク共和国カーボデルガド州ペンバ市
ナティティ地区&エспанサオン地区

●ナティティ平和の家

●当会事務所

●ペンバ寺子屋



ナティティ平和の家



ペンバ寺子屋



エспанサオン共同水場

●エспанサオン共同水場



マコンデアート



野ネズミ揚げ

✈ペンバ空港

●
エспанサオン
平和の家



エспанサオン平和の家(予定)

<距離>

- 空港から事務所
車で15分
- 事務所から平和の家
徒歩8分
- 事務所から寺子屋
徒歩8分
- 事務所からエспанサオン
平和の家
車で30分
- 事務所からエспанサオン
共同水場
車で30分
- エспанサオン平和の家
から共同水場
車で10分



モザンビーク北部の課題

子どもの貧困率は60%、栄養不良は72%。5歳未満の死亡率は7%。
未来を描くことが困難な、モザンビークの最貧困地。

教育

長期に渡る植民地時代の愚民化政策と、社会インフラの未整備により、教育レベルが非常に低い。

子どもたち (5-17歳) の55.7%が学校に一度も通ったことがない。

公衆衛生

不衛生な環境、医療レベルの低さから、新生児死亡率20%、乳幼児死亡率は7%(18%から改善) と、国内で最も死亡率が高い。また、5歳未満の72.6%が栄養不良に陥っている。

そもそも脆弱な環境に加え、**イスラム過激派のテロ紛争も発生。**

NOW

テロ紛争

日本も参入する天然ガス開発を背景に、イスラム過激派のテロ紛争が、国内で初めて勃発。海外からの支援は天然ガス開発の保護が目的となっており、被災者支援がなおざりになっている。

サイクロン増加!

NOW

サイクロン

気候変動の影響をもろに受け、サイクロンが上陸するようになっている。豪雨による洪水・水系感染症増加、暴風による家屋の破壊に直面。スラム地区には支援が届かない。



課題解決：ペンバ寺子屋の役割

無教育の連鎖を断ち切り、年長者から年少者へ**学びの循環を創造**。
州最大のスラム、ペンバ・ナティティ地区に2014年**ペンバ寺子屋**を建設。

教育

道徳を基盤に、読み書き、算数、社会、工作等指導。

公衆衛生

手洗い・歯磨き習慣。
コレラ等感染症予防。

教育&公民館機能 ペンバ寺子屋

スラム+テロ紛争避難民の
子どもたち約**350名**が通所。

駆込み寺

24時間対応の救急搬送。
保健、人生相談。

配食

1日1食以下**15%**を改善。
朝と晩の配食活動。



寺子屋の車はスラムの
みんなの救急車。

命と未来を守るため必要不可欠な場



課題解決：ペンバ寺子屋の役割

- ◎ 助け合って生きるスラム地区では、紛争避難民を自主的に受け入れ、30人~50人で暮らす家もある。
- ◎ 農村での紛争と避難民流入により、食料不足と衛生状態が悪化。感染症の流行も拡大。
- ◎ 郊外の避難テントで暴行をうけ、寺子屋に駆け込む人も増加。

コレラの大流行

出血性結膜炎の流行

はしかの流行

HIV 15-49歳 感染率 11.4%

スラムの子どもたちの15%が1日1食以下で生き抜く！

公衆衛生と食料支援が、命を守る最重要活動！

衛生状況の悪化と飢えを
ペンバ寺子屋を拠点に改善中。

ペンバ寺子屋にはスラムの子どもたちと紛争避難民の子ども総勢350名が通所。



課題解決：紛争と平和の家

アフリカ最大規模の天然ガス開発と同時に
イスラム過激派のテロ紛争が勃発。



開発停止中。
2029年
再開予定

日本が日常的に使用するガス資源の採掘場所

生産される年間1,200万トンの天然ガスの約3割は、
日本の電力・ガス会社が引き取る予定。

開発のため、
住民が土地・
仕事を追われる

住民が開発に
参加できず、
利益も落ちない

不公平
不平等への
不満

政府腐敗
利権主義
縁故主義

イスラム
過激派思想
流入

死者5,000名以上、避難民100万人、食糧難290万人。

当会拠点のペンバに、**8万人の避難民が流入。**

カーボデルガド州の2020年の死者数は2019年の2倍。
モザンビーク全体の死者の97%がカーボデルガド州。

イスラム過激派
テロ攻撃の拡大

死者・避難民
の増加

深刻な
食糧難

貧困不満から
過激派に参加

子どもの
拉致の増加

テロ紛争に加え、さらには露ウ戦争により燃料、食料
価格が高騰！インフレ化加速。深刻な飢えと貧困。

コンゴ紛争の影響も予測。
地域紛争の懸念も。

支援が届かない避難民・スラムの人たちの声に答えて、避難施設

「平和の家(Casa de Paz)」を2021年から建築運営。





課題解決：サイクロン復興

緊急支援

2024年12月15日ペンバをサイクロンChidoが直撃。

当会事務所の屋根が吹き飛び、寺子屋キッズの家も 多くが破壊。支援は全く無し。

気候変動の影響をもちに受け、2019年からサイクロンがモザンビーク北部に上陸するようになった。

- 死者120人、負傷者868人、被災者45万人（9万世帯）。
家屋破壊 7万軒、家屋損傷 3万軒。（国立自然災害研究所2024年12月24日）
- 暴風による被害が甚大。当会の事務所兼住居（紛争避難民が居住する部屋もあり）の屋根も吹き飛び、寺子屋キッズの家も約90軒が損傷し、疎開している子どもも多数。
- スラム地区には一切支援が入って来ていない。



モザンビークのいのちをつなぐ会の事務所も屋根が吹き飛び、部屋から空が見える状態。



寺子屋キッズの家も屋根がすべて吹き飛び露天状態。家に住めないため親類の家に疎開している。



外壁はもちろん、屋根が吹き飛び、基礎も破壊された家。セメントを貼ってない家は、壁面まで破壊されている。

唯一の草の根NGOである当会で
地道な再建を実施

日本の1級建築士のサポートを受け修繕

- 最低限の予算で暴風雨に強い構造にする
- 屋根と壁の接客部分の強度を高める
- 海からの風向きに逆らわない屋根の流れ



目標

3年間でスラムの家50軒を修復

修繕費用50万円/軒（当会事務所修繕費用参考）



主な活動<1>:教育活動



スラムの学び舎・寺子屋の運営

ペンバ寺子屋
ナンプラ寺子屋

無教育の連鎖を断ち切り、夢を拓く！

- ◎ 経済的理由や親の教育への無関心により、子どもたちの半数以上が学校に通えなかった。
- ◎ 寺子屋を開所し、奨学サポートをすることで、すべての子どもが学校に通えるように。
- ◎ 寺子屋では道徳をベースに、基礎教育や学校で教えない科目を学び、好奇心を高め、夢に近づくサポートを実施。

制服の配布で
通学率が一気にアップ。



目的：知的好奇心の向上と教育の機会の増大
 内容：読み書き、算数、英語、工作、社会、音楽等の学習、奨学用品の配布
 対象：2歳から40歳（メインは子ども）
 通所人数：約350名 **幼児組が増加中**

目標

寺子屋から進学、起業する人財を輩出する。

夢に近づく、寺子屋キッズ！

理想を持つことが何より大事！地域のスター（憧れの人）を輩出し、「やればできる！」と続く人財を育てます。



政府の奨学金でドイツ留学が決まったミステリオ。



寺子屋オープン時から通っていたエディは警備会社に勤めながら学校に通っています。



欧州の財団の奨学金で、ポルトガルの音楽院へ留学が決まったオズバルド。



プロサッカー選手になったエルデル。

寺子屋ディレクター

ミュージシャンとしても活躍！『善く・清く・強く 生きる』影響力を発揮！

ナジャ



内戦中に生まれたナジャ
平和への思いが強く、またマコンデ族の「勇気、敬意、文化保護」精神を大切に、スラムの子どもたち一人ひとりに愛情を注いでいます。



寺子屋キッズの様子や、公演の様子は Youtubeチャンネル **Natite Mozambique** でご覧いただけます。



Natite Mozambique



子どもたちと一緒に親善ソングや平和の歌を作りました！

北九州親善ソング
「Let's go Kitakyushu」

平和のうた
「Axinamwane」

5年連続疾病死亡率ゼロ！ 公衆衛生活動

キレイ習慣を身に付けて、感染症から身を守る！

- 死が非常に身近なスラム地区。子どもたちは感染症による死亡率が高い。
- 衛生用品を買うお金がないため、石鹸や歯ブラシを使ったことがない子どもたちがほとんど。
- 寺子屋では毎日のキレイ習慣、怪我の応急処置の他、救急搬送も行っています。

目的：衛生習慣を身に付ける

内容：歯磨き、手洗い、爪切り、洗濯など

対象：寺子屋に通所する子どもたち

目標

ウイルス・細菌による疾病死亡率の低減。



新入生も多いため、毎年、手洗い方法等、しっかり教えています。



飢えと栄養失調改善！配食活動

1日1食以下が15%。7割が栄養不良。

- 深刻な食糧難により、栄養状態が悪い子どもたちがさらに増えている。
- 寺子屋では朝のパンと晩の豆シチューの配食（給食）、住民へは食材配布を実施。
- 寺子屋での食事がないと、夜中にゴミをあさりに行ったり、売春に走る子もいる。
- 配食活動は子どもの心身の健やかな成長を支える、大変重要な活動です。

目的：すべての子どもが1日2食摂食

内容：朝と晩の配食、家庭への食材配布

対象：寺子屋に通所する子どもたち、スラムのママさん

目標

栄養失調・飢餓の改善。心身の成長サポート。



スラムの住民にも食材配布



主な活動<4>:水環境整備活動



目的

安全な水へのアクセス率向上。衛生環境整備。

村の水場は川底からしみ出る水。
すべての生活用水に使用。
動物とも共用しています。



村で調達できる部品を用いて、
ロープポンプ式井戸（浅井戸）を製造・設置。

不衛生な水の常用の改善
トイレの整備

農村地区での水環境整備活動



手作り浄水器の配布



村の木で作るピットトイレ



トイレの設置

- ◎ 農村ではトイレも井戸もない村が多数。
- ◎ 村にある材料を用いて安全な水へのアクセス、衛生的な環境を整備。

深井戸の設置
共同水場

スラム地区での水環境整備活動

- スラム地区とは人口が密集する町の貧困地区。トイレはぼっとん便所のため、浅井戸では水が汚染。深井戸を設置する必要がある。
- ペンバは慢性的かつ深刻な水不足で、水道を引いていても、何ヶ月も水が出ないことがある。安全な水を得るための最善策は、深井戸の設置。

深井戸、寺子屋、平和の家の建築も
コミュニティの経済と支援の循環のため、
スラムの職人チームで完成させます。



手掘りでの掘削



タワー型給水塔

手掘りで45mの深井戸を設置

- ◆ 深井戸は手掘りで2週間から1ヶ月かけて掘削・設置。
- ◆ 深井戸からタワー型給水塔～外壁まで配管し、路地から安全な水を給水！
- ◆ スラムの経済を回すために企業(ほぼ外資)に外注せず、スラムの職人さんと一緒に様々な活動を行っています。



主な活動<5>:環境保全活動



● 環境問題と貧困問題の
両立解決！

環境保全活動

後進国の環境問題は貧困問題とセットが重要！

- 未来の姿を目的とする環境活動は、日々を生き抜くことで精一杯な貧困地では住民の巻き込み力が弱い。
- 貧困問題改善につながる実利ある施策が大切！
- 住民のモチベーションを高める美化活動や、子どもワークショップを実施。

目的：地球・地域環境意識の向上、自然資源の保全
きれいで衛生的な町づくり、貧困改善
内容：環境美化活動、食べられる緑化、環境学習
対象：ペンバのスラム地区全域

目標

貧困問題をカバーする自然・地域環境の改善。



モリンガの播種・育成・移植



路地はモリンガの緑いっぱい



今後はバナナの栽培に挑戦！



主な活動<6>: テロ紛争・サイクロン被災者支援活動

平和の家 Casa de Paz
ナティティ地区
エспанサオン地区

テロ紛争被災者支援活動



- ◎ 「安全な場所で寝たい!」 避難民からの相談増加に応え、2021年に避難施設・ナティティ平和の家を建築。
- ◎ 避難施設のないエспанサオン地区でも平和の家と、避難施設兼共同水場の建設を計画。
- ◎ 気候変動の影響をもろに受け、巨大サイクロンの上陸が急増。サイクロン被災者支援も実施。



ナティティ平和の家

住居 食料
衣料 浄水



エспанサオン避難施設兼共同水場
深井戸の設置が未だですが、
すでに避難民が住んでいます。

目的：避難民、被災者のサポート
内容：避難施設<平和の家 Casa de Paz>の建築運営
避難施設兼共同水場の整備、食料配布、衣料配布

目標 支援が行き届かない人たちの命を確実に守る。



次世代に豊かな精神を伝える活動

音楽 ダンス

歴史 平和

国内交流、国際交流



みんなの未来のために
お金をつくる活動

小さな商いプロジェクト

助成金・補助金の申請

財務・会計・法律に関する知識

一人ひとりの夢を具現化する活動

寺子屋 (ペンパ、ナンブラ)

ICT (情報通信技術)

奨学サポートプログラム

技術講習 (車両整備、溶接、大工)



小さな商いプロジェクト



事業、起業、寄付、資金調達

モザンビークのいのちをつなぐ会の
原動力と、向かう未来。

VISION MAP



助け合い、音楽会
さらに強くなりながら
未来を創ります。

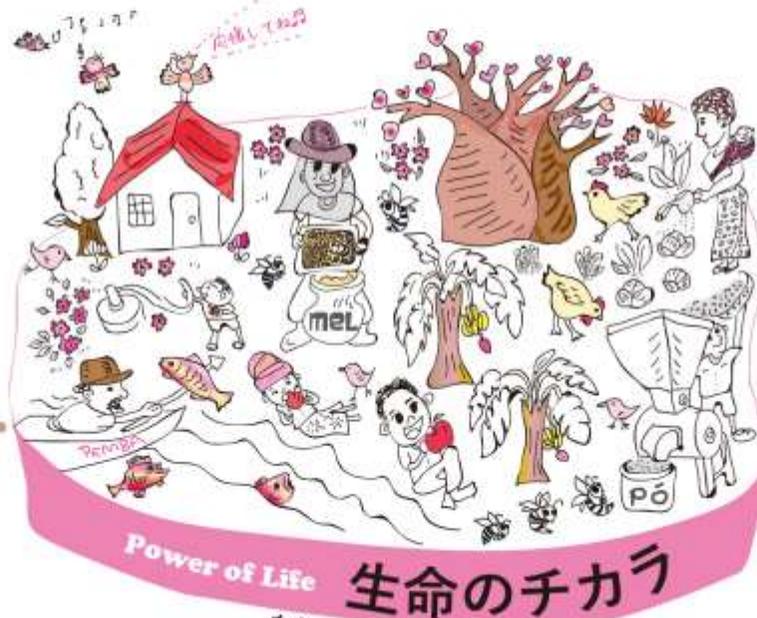
物のチカラ

エネルギー、資源、輸送、工場

産業の基盤となる物理的な活動

輸送 (タクシー、トラック、バス)

バイオマスエネルギー (太陽光、木炭)



生命のチカラ

自然、水、食糧、健康、住居



知のチカラ

教育、情報、技術

健やかな生活を支える活動

公衆衛生 (保健管理、衛生)

農業 (緑化、有機農業)

水環境 (井戸、水道、浄水器)

養蜂

製粉

製パン

ビジョンに大きく近づくための小さな商いプロジェクト



新たな挑戦：コミュニティ・ビジネス支援活動

課題

【失業率7割超え】

- 就職先が限られており、定職に就くことが困難。
- 日雇いや行商で日銭を稼ぐケースが多数。

【技術習得の場が少ない】

- 電気、メカニック等の技術習得の費用が高い。
- 進学を断念する若者がほとんど。

【資金調達が困難】

- 知名度低く寄付少ない。
- 助成金が採択されにくい。
- 治安・政治的に活動ハードルが高く、現場重視。広報弱い。
- 「命を守る」活動資金も大幅に不足。

自立創造的に、支援を継続する挑戦必至！

住民との厚い信頼とネットワーク、相互扶助力を高めてきたからこそ実現できるコミュニティ・ビジネス。

新・最大の挑戦！

小さな商いプロジェクト

2030年までに完遂

目的

スラムの住民が自立創造的に支援と経済の循環を作る、住民主導の理想的なコミュニティ開発を実現。

- ★コミュニティの相互扶助力を強化する
- ★就業場所の創出
- ★トレーニングの場の創出
- ★起業機会の創出
- ★社会支援の資金と機会の増大
- ★自立創造型コミュニティのモデルケースづくり

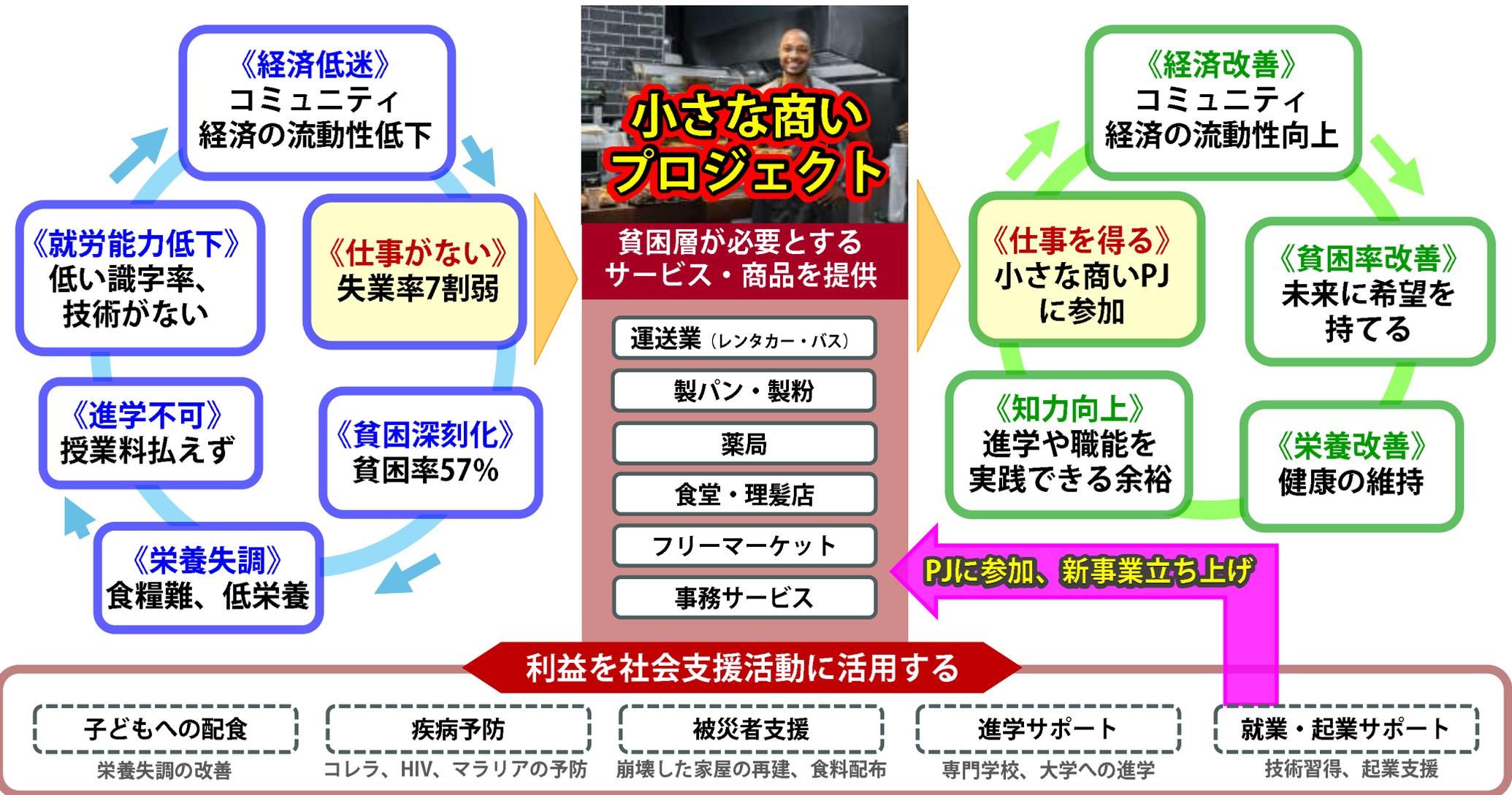
社会的ジレンマを起こさない商い = 運送業・パン屋・薬局・食堂等の立ち上げ

内容

住民が必要とする事業を興し、スラムの経済を回し、みんなで創った収益を子ども・被災者・奨学・能力開発などの支援に活かす。

モザンビークのいのちをつなぐ会が可能にするコミュニティ開発、 スラム地区における社会支援と経済の循環。

Theory of Change





小さな商いプロジェクト：事業バリエーション

寺子屋キッズの配食費も大幅不足のため **利益率が高い** 運送業からスタート。

優先順位
<1>



運送業 レンタカー、バス、物流

目的

青年の免許取得とメカニック育成

内容

レンタカー事業、ミニバス運行、物流事業

補足

寺子屋OBの免許取得希望者多数。積極採用し、免許取得。



ミニバス運行

2025年よりミニバス1台運行

**利益率が高い
レンタカー事業に
挑戦したい!**



優先順位
<2>



製パン屋 朝のパン配食に連動

目的

毎日の子ども配食のパン購入費のコスト削減、パン販売。
寺子屋OBOGの調理技術の習得。

内容

パンの製造・販売・配布。

補足

- ・業務用パン焼き機（中型電気式オープン）は首都で購入、輸送。（ベンバ、ナンブラで販売していないため）
- ・製パントレーニングはナティティパン屋と共同実施。

優先順位
<2>



薬局 薬不足を解消!

目的

必要な薬剤の確実な調達。
寺子屋で病人の薬購入を行うが、**処方薬が薬局に無い薬が高額**することが多いため、自前で薬局整備。

内容

薬局の開業。薬剤師育成。

補足

- ・薬剤師育成のため、すでに寺子屋OG 1名大学進学。
- ・薬局開業ライセンスは立地が大通りに面する必要あり。

優先順位
<3>



コピー屋 ビジネスセンター

連動

目的

ナティティ地区にオフィス業務代行業がないため
スラムの住民が便利に書類作成・提出できるようにする。

内容

コピー&スキャン&FAXもできる複合機の整備。

補足

- ・ラミネートのニーズも高いため、ラミネート機も整備。
- ・ネットカフェと連動させ、住民の事務作業効率向上。

優先順位
<3>



ネットカフェ PC利用促進

目的

パソコンやインターネットの利用促進。PCスキルの向上。

内容

複数機のパソコンの整備。Starlink (米国SpaceX社) 導入。

補足

- ・ビジネスソフト (Word、Excel、PowerPoint等) 研修。
- ・映像制作研修 → 各人の収入源にする。
- ・子ども向けネットリテラシー教育の実施。



2025-26年度の 重点活動



写真：毎日の配食の様子。
当会スタッフと寺子屋OGで、
毎日子どもたちの食事を作っています。





重点活動① 小さな商いプロジェクト

レンタカー事業 車両タイプとレンタル価格、モザンビークで購入した場合の価格

Plano de rent a car e tipos de carro

エンジン	モデル	写真	市内運転者付/日	市外運転者付/日	モザ車両購入金額
Motor	Modelo	Imagem	Preço diario dentro da cidade com motorista	Preço diario fora da cidade com motorista	Preço de carro
2.8 L diesel D-4D 16 V turbo	Toyota Hilux SRX Plus 2024		11,000 MZN	15,000 MZN	4,200,000 MZN
			26,070 JPN	35,550 JPY	9,954,000 JPY
2.8L Diesel	Toyota Coaster Highroof 22-SEATER AT 2024		11,000 MZN	18,000 MZN	2,000,000 MZN
			26,070 JPN	42,660 JPY	4,740,000 JPY
2.8 DT 6 speed automatic diesel	Toyota Fortuner Crusade GUN156R AWD 2024		12,000 MZN	18,000 MZN	4,975,975 MZN
			28,440 JPY	42,660 JPY	11,793,060 JPY
2.8 DT 6 speed automatic diesel	Toyota Fortuner Crusade GUN156R AWD 2025		12,000 MZN	18,000 MZN	5,975,975 MZN
			28,440 JPY	42,660 JPY	14,163,060 JPY
2.5 Diesel	Toyota Quantum 2.8 SLWB Bus 14-Seater 2024		9,000 MZN	11,000 MZN	1,500,000 MZN
			21,330 JPY	26,070 JPY	3,555,000 JPY
2.8 diesel	Nissan UD Croner PKE 250 4X2 AUTO 2025		depende da distancia e do local para estimar o preço		4,000,000 MZN
			距離によりけりで金額決定		9,480,000 JPY
2.8 diesel	Toyota Fortuner Crusade 2022		12,000 MZN	18,000 MZN	3,800,000 MZN
			28,440 JPY	42,660 JPY	9,006,000 JPY
Diesel Turbo 4, 2.8L	Toyota Fortuner GX GUN156R 2020		9,000 MZN	11,000 MZN	2,800,000 MZN
			21,330 JPY	26,070 JPN	6,636,000 JPY
Diesel Turbo 4, 2.8L	Toyota Fortuner 2021		10,000 MZN	12,000 MZN	3,500,000 MZN
			23,700 JPY	28,440 JPY	8,295,000 JPY

運送 ミニバス&レンタカー



目的

- 活動資金づくり
- スラムの青年の免許取得

内容

- <ミニバス>
- ペンバ市内ミニバス運行（1台からスタート）
- <レンタカー>
- SUVとバス、トラックの調達

目標

- 2026年度までにミニバス3台、レンタカー3台を運行
- 運営体制・システム整備
- 青年の免許取得
- メカニックの育成



重点活動② 子ども配食活動& 公衆衛生活動 (セットで実施)

朝と晩の配食

ペンバ
寺子屋

公衆衛生 キレイ習慣

配食と公衆衛生をセットにして実施



目的

- スラムの子どもたちが1日2食以上摂食
- 飢え・栄養失調を予防

内容

朝：毎朝パン 200~300個
 夕：豆シチュー等 欠食児童 50名
 ・毎週1回イベント食 ・手作りお菓子づくり

対象

パン：150-300人/日
 豆シチュー：寺子屋近所の欠食児童 50人
 ＊治安が悪く、暗くなって外に出ることを避けるため
 夕食は暗くなる前に帰宅できる距離に住む欠食児童。

補足

- 栄養バランス：野菜や豆のサンドイッチ、豆シチューに鶏肉や卵を入れるなど、普段摂取量が少ない緑黄色野菜や動物性タンパク質を取り入れる。
- スラムのママさんへの食材配布も実施。

目的

- ウイルス、細菌等感染症による罹患・疾病死亡率の低減

内容

手洗い、うがい、歯磨き、爪切り、食器洗い、洗濯。
 疾病基礎知識
 ＊コレラ、結膜炎、結核、HIV、マラリア予防の座学も実施
 ＊家庭への石鹸、洗剤配布も実施

対象

ペンバ寺子屋キッズ 約350名
 その家族 (1世帯に20名以上居住)
 インパクト：7,000人

新たな
試み

スラム地区のピロリ菌感染率調査

- ・ アフリカにおけるピロリ菌の感染率は70.1%と推定。
- ・ スラムで胃痛に悩む中年層が目立つ。
- ・ 簡易キットを調達し、ピロリ菌感染率を調査。
- ・ 治療薬の調達についても調査していく。

目標

子どもの死亡率ゼロを5年連続で達成する！





重点活動③ 寺子屋の整備

ペンバ
寺子屋

新たな
試み

奨学金制度

専門学校・大学進学のための奨学金制度導入

◎ 経済的理由で多くが進学できないため、寺子屋の進学希望者に奨学金サポートを実施。

専門学校	先生	8,900円/月 X 3年間	合計35万円
専門学校	看護師	7,100円/月 X 3年間	合計30万円
大学	会計士、弁護士	9,500円/月 X 4年間	合計50万円



教室拡張

2026年度～

ベランダ教室の拡張

- 現在2.2mx5.7m
⇒ 奥行きを4.5mにして子どもたちがベランダ教室を利用できる数を増やす。
- 床とトタン屋根拡張

奨学用品

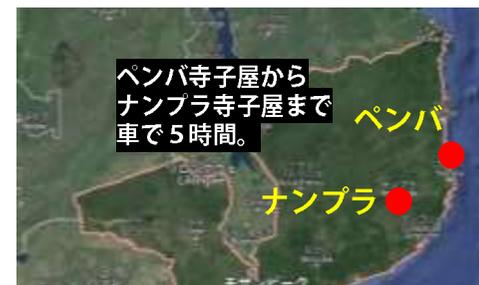
- ◎ 2023年24年度は資金不足により学校制服の配布ができなかったため、2025年度以降に実施。
- ◎ 通学、怪我防止のため履物がない子どものためにサンダル配布。



ナンプラ
寺子屋

ナンプラ寺子屋水道の敷設

- ◎ 2021年に紛争の疎開施設として開設したナンプラ寺子屋。
- ◎ 現在、子どもたちはナンプラ州の学校に通い、寺子屋はコミュニティの集会場としても活用。
- ◎ ボーリング60mでも水が出なかったため行政のインフラが整い次第、水道敷設。



ペンバ寺子屋から
ナンプラ寺子屋まで
車で5時間。

ナンプラ

ペンバ



井戸水が出にくいナンプラ地区で、水道敷設を実現。



2022年ボーリング実施。
巨大ボーリング車に人だかり



60m掘るも
水が出ず

2025年or
2026年度に
配水網が近くに
引かれる予定。
ナンプラ寺子屋
に水道敷設！

- ナンプラ寺子屋：ナンプラ州 ナンプラ市ナミコボ地区
- 現在の居住者数：
ペンバから疎開する子ども20名
- 管理人：2名



● 首都マプト



重点活動④ テロ紛争・サイクロン被災者支援

A サイクロンで壊れた家の修復

緊急支援
ページに
記載

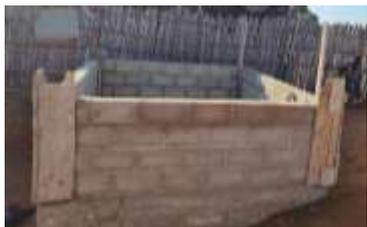


エスパンサオン共同水場兼避難施設

- 敷地面積：30m x 20m
- 建屋面積：建屋101.25㎡
(部屋93㎡+ベランダ8.25㎡)

B エスパンサオン共同水場の整備

2023年度



地下式水タンク設置
2.5m x 2.5m x 3.0m

2024年度



建屋整備
屋根、壁・床、ドア・窓、トイレ

すでに避難民が居住

2025/26年度～

●手掘り深井戸 45m設置

- タワー型給水塔
- 外壁設置

2023年から井戸掘り
資金が調達できず…。

エスパンサオン地区は浸水しないエリア

成果

- ◎紛争・サイクロン避難民が安全に避難できる施設が実現。
- ◎深井戸がないエリアに初の安全な水のアクセス可能な井戸が完成し、地域住民が利用できる。

C エスパンサオン平和の家の整備

エスパンサオン平和の家
建設予定地の現状：

- 敷地面積25mx30m。
- 2019年に土地購入。
- 2020年に外壁を半分の高さまで建築。
基礎に必要な石を購入済み。
- 毎年雑草やゴミの除去を実施。



建築パース

2026年度～

- 1: 外壁工事
(高さ2.5m、鉄門扉)
- 2: 電気・水道・深井戸整備
- 3: 建屋の整備
- 4: 備品整備
(簡易ベッド、扇風機、冷蔵庫)



建屋の完成イメージ



対象

エスパンサオン避難施設兼共同水場

- A: テロ紛争避難民等：
50名/3ヶ月×4=200名/年間以上
- B: 地域住民
(安全な水の利用)
200世帯 (4,000名)

合計
4,200名の
インパクト

エスパンサオン平和の家

- ◎5-10人 x 8部屋
- A: テロ紛争避難民等：1部屋/3-4か月滞在
年間居住想定：225名
- B: 地域住民
(安全な水の利用)
200世帯 (4,000名)

合計
4,225名の
インパクト



重点活動⑤ 水環境保全活動

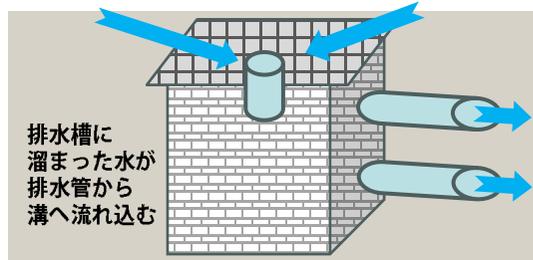
ペンバ寺子屋とナティティ平和の家の排水設備整備。

水系感染症予防のための排水設備整備

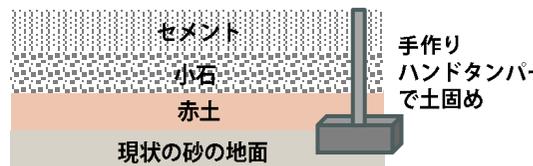
- モザンビーク北部では気候変動の影響により豪雨、洪水が急増し、コレラが大流行。
- 異常気象に加え紛争、粗悪な水と衛生環境、脆弱な保健システムが、地域全体の子どもたちの命を危険にさらしている。
- 豪雨時に汚水の水たまりになる<ペンバ寺子屋>と<ナティティ平和の家>の排水設備を整備。
- 水系感染症等に罹患しにくい住環境をつくり、子どもたち、紛争避難民、地域住民の生命を守る。



工程 1：敷地内に1.5m四方の排水槽を設置

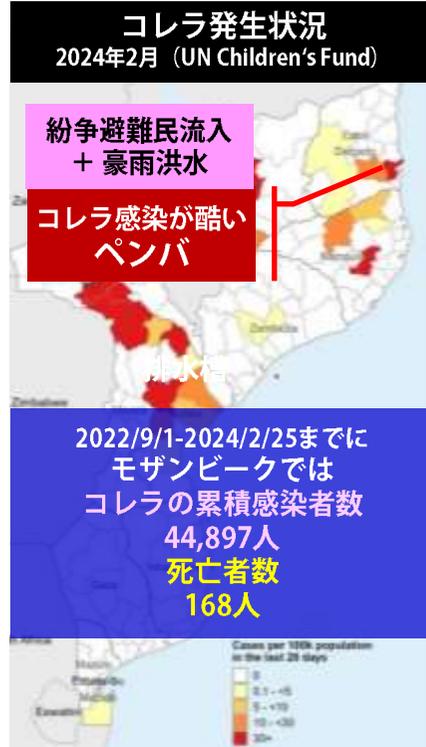


工程 2：敷地を赤土、小石、セメントで整地
排水槽に水が流れ込む角度で整地



工程 3：排水管を排水槽から路地の溝まで設置

大きな溝が近くにある【ペンバ寺子屋】



路地へ雨水を排水【ナティティ平和の家】



目的

水系感染症等に罹患しにくい環境を整備し、子どもたち、紛争避難民、地域住民の生命を確実に守る。

排水設備整備で防ぐ水系感染症等とは

- ◎ 水系感染症：コレラ、腸チフス、A型肝炎など
- ◎ ベクター媒介感染症：マラリア、デング熱/出血熱、黄熱、ウエストナイル熱など
- ◎ 破傷風・ガス壊疽菌、レジオネラ症

内容

ペンバ寺子屋とナティティ平和の家の排水設備の整備

対象

- ◎ペンバ寺子屋
通所：350名
井戸利用：100世帯（2000名）
- ◎ナティティ平和の家
居住：140名/年
井戸利用：100世帯（2000名）

合計
4,490名の
インパクト



重点活動⑥ 環境保全活動

第9回
2026年

自分たちの町を自分たちでキレイに！海洋生物の保護。

ペンバ環境美化活動



目的

増加する廃プラ問題を改善！

- 廃プラによる海洋汚染を防ぐ。
- 家庭と公共の場の美化。
- 美化習慣を身に付ける。

内容

- ・美化委員26名を結成（1名委員長）
- ・ビーチと路地の美化
- ・毎日の家庭の清掃
- ・美化コンテスト

対象

- ・スラム地区3エリア3000世帯対象



スラムで人気の美化委員。
女性のチカラを活かす方針で活動を展開。
2024年度に第8回美化活動を実施。

子ども 環境 WS

故郷の豊かな自然の価値を
子どもたちに教え、
環境保全意識を高める。

- ・地球と地域の環境問題座学
- ・海洋保全ワークショップ(WS)
- ・廃プラリサイクルWS

自生植物で緑化を行い、同時に食糧難を改善！

食べられる緑化・バナナの栽培

目的

環境保全と、食糧難・栄養失調の改善！

- エネルギー価の高いバナナの栽培。
- 緑化を行いながら、食糧難と栄養失調の改善を図る。

内容

- ・毎年300軒の家の庭にバナナを移植
- ・株分けも実施
- ・合計3000軒の家庭でバナナを収穫できるようにする

対象

- ・スラム地区3エリア3000世帯対象

補足

- ・これまで5年間、食べられる緑化プロジェクトとしてモリンガの栽培移植を実施。
- ・スラムの路地のモリンガ移植が成功したため、2026年度から次のフェーズとして、住民の要望が多いバナナを採用。



2023年度～2025年度は
資金調達ができなかったため
2026年度からバナナPJ実施。

食べられる緑化プロジェクトでは、植物の管理コストがかからないよう、スラムの家の庭・垣根に、植物の移植を行っています。



重点活動⑦ 芸術文化活動

紛争の地から響かせる初の平和と調和の音楽フェス!

Peace & Harmony 音楽フェスティバル in ペンバ

紛争が続く少年兵も増加するペンバで、
平和と調和ある暮らしを導く
啓蒙力の高い音楽フェスを実施。

出演者

- 20代から70代の独立戦争・内戦経験者を含めたモザンビークのアーティスト8組
- 日本のアーティスト、日本の歌を歌うアフリカンアーティストの参加も想定

特長

- 日本とアフリカの国際共創作品の発表
- アフロビート、トラディショナル、R&B, ヒップホップ等
- 平和トークセッション
- 日本（アジア）の文化紹介

開催日

2026年7月 16:00-23:00

開催場所

モザンビーク共和国
カーボデルガド州ペンバ
Naval/PorSol
*屋内外で視聴可能な会場



*ペンバの危険度2 紛争地であるが州都で、軍も駐在しており州の中で最も安全。

来場者

800名以上

参加費

無料

すべての人に開かれたイベント。
教育レベルの低い貧困者層にも、平和と調和の
コンセプトを届ける。



スケジュール

- 2026年4月まで 資金調達、平和と調和のテーマソング制作
- 2026年4月 平和と調和の歌のレコーディング（日本とモザンビーク）ミックス
- 2026年5月 平和と調和の歌の動画製作
- ペンバ平和と調和音楽フェスティバルちらし製作
- 2026年6月 日本公演ブッキング、広報ツール製作
- ペンバ平和と調和音楽フェスティバル広報（ラジオ、街宣、チラシ）
- ペンバ平和と調和音楽フェスティバル リハーサルスタジオ7日
- 2026年7月 ペンバ平和と調和音楽フェスティバル開催
- マプトでのNGOアライアンス（オンライン+オフライン）
- 2026年8月 日本での講義公演
- ~2027年2月 日本での講義公演
- 2027年3月 完了報告書作成

国際共創作品、国際アライアンス
ペンバ平和と調和音楽フェスティバル
日本での国際相互理解推進イベント





日本国内での活動：国際相互理解推進活動

ナジャ講義公演

- 露ウ戦争、パレスチナ・イスラエル戦争の影響もあり、テロ紛争地で教育・被災者支援活動を続ける私たちに【**体験に基づく平和の話**】の要望が増加。
- この混迷の時代を生き抜き、一人ひとりが相互扶助の力を持つため、**<善く生き、平和と調和ある未来を創る>**をテーマに、講義公演を実施。
- 日本各地の学生や一般市民向けに、紛争のリアル、アフリカでの経験とそこから紡ぎ出される音楽を交えて紹介、啓蒙。
- 一人ひとりの知識と共感意識を高め、調和と安寧なる世界への一歩とする。

ナジャの美しく力強い音楽とトークを組み合わせ、エゴから共生への意識と行動の変化を促す。

目的

平和意識や相互扶助力の向上。
ひいては安寧な世界の創造に貢献する。

内容

【ナジャの弾き語り】

幼少期の内戦と現在のテロ紛争を体験しているナジャ。平和に対する思い、モザンビークの暮らしや民族、日々の出来事を歌にした、マコンデ語・マクワ語・スワヒリ語・ポルトガル語を用いたギターの弾き語り演奏。

【トーク・榎本恵&ナジャ】

- ・資源開発と紛争 ・スラムの暮らしや食、調理、住環境、子どもたち
- ・貧しすぎても助け合い、いのちと暮らしを支え合うスラムの習慣
- ・呪術 ・気候変動の影響によるサイクロンの上陸

実績

500公演以上、2.3万人の動員。

- ・2015年から2024年まで、アフリカ・欧州・日本で公演
- ・2024年度の公演実績：全39講義・公演 参加者：3,878名
- ・世界各国のアーティストとの共演実績多数



門真市の小学校での講義



小学生との合奏



パーカッションレクチャー



音楽劇『YASUKE』のテーマソング提供、出演。



活動動画

Youtubeにアップした動画をお楽しみください♪

寺子屋キッズ「ありがとう」の言葉



日本語でありがとうのメッセージ

公衆衛生・配食活動の様子



元気いっぱいの寺子屋キッズをご覧ください。



環境美化・クリーンアップソング



クリーンアップソングをペンバの風景とともに。



美化活動ストーリー

平和と子どもの成長を祈る歌『真っ白い空』

白い空。平和のイメージ。子どもと手をつないで輪になる。希望を与え、幸せを与え、日々を与え、子どもは成長する。戦争のない世界。争いのない世界。差別のない世界。表現の自由と、自由意志を得る。遊び、歩き、学び、働く。子どもは明日の果実。明るく輝くことができる。子どもは明日の果実。成長することができる。子どもは明日の果実。世界を変えることができる。大人は実った花を大切に育てよう。白い空。平和のイメージ。



作詞作曲：ナジャ





代表とディレクターの紹介

代表理事・モザンビーク事務局長 榎本 恵 Megumi Enomoto



- ◆ 福岡県北九州市小倉生まれ。ペンバ・ナティティ地区在住。
- ◆ 大学卒業後、広告代理店でプランナー&コピーライターとして勤務。
- ◆ 2000年、起業・事業拡大支援を行う Planning MAY を開業。
主に環境・農業・通販・教育系企業のビジネスサポートを手がける。
- ◆ 2012年、日系企業のモザンビーク進出をきっかけに、
初めてアフリカの地を踏む。半年間、新規事業開発業務を行う。
- ◆ それまで後進国の開発地区で目の当たりにした、「取り残された
貧困層の問題」、「先進国の開発論理と後進国の貧困層のニーズの
ジレンマ」を少しでも解消すべく、
2013年4月『NGOモザンビークのいのちをつなぐ会』を設立。
2018年12月、一般社団法人化。



NHK WORLD で榎本の番組が放送。
15分、英語。



『教育を通じ貧困の連鎖を断ち切る / 榎本恵』

Breaking the Poverty Cycle Through Education:
Enomoto Megumi / CEO, Bridge for Lives in Mozambique

NHK BS でナジャの番組が放送。20分、日本語。



『平和を願い歌う / ナジャ』

A Melodic Wish for Peace / Nadja



ディレクター Nadja (ナジャ)

- ◆ 1987年、カーボデルガド州ムエダ生まれ。マコンデ族。4歳の時に内戦の戦火を逃れ、
ムエダからペンバへ移住。東アフリカで名を馳せたミュージシャンの叔父・ナングンド
と同居し18歳の時に自分のバンドを結成。
- ◆ 叔父に倣い、音楽を通じた社会貢献活動を続ける。アフリカ圏内の大統領などの
要人の会合やチャリティーGALAでの演奏機会が増え、国民的ミュージシャンに。
- ◆ 2013年モザンビークのいのちをつなぐ会の設立時から活動に参加。
- ◆ 2015年から日本や欧州でも公演を行う。
- ◆ 2019年ペンバ青年共同組合設立。





主なスタッフの紹介

代表の榎本恵と、ディレクターのナジャ。そして愉快的スタッフたち。スラム地区に住む青年、ママさん、職人さん **総勢100名体制**で汗水を流し、すべての活動にチカラを注いでいます。

カシマーノ、ニーノ



頼もしい寺子屋サナディレクターのカシマーノと足に障害があるけど頑張っている講師のニーノ。ナジャの不在時も万全の体制で活動を続けてくれます。

パウロ



平和の家マネージャーの住民の意見をまとめるのが得意です。

オズバルド



ペンパ音楽スタジオ主宰。入れ墨の素になる植物・ディンパディーカと。

タニム



寺子屋用務員の知的障害がありますが、真面目で面白い！

ジヨルダン



警察官のジヨルダンは、トラブル発生時や交渉事に大活躍してくれます。

アリサーヤ



寺子屋の調野隊長の寺子屋を建てる以前は事務所の庭で子どもたちに読み書きを教えてくれていました。

フローレンシオ、ラモス、ペニ、イルラ、ダニロ



年々増えていく幼児組のお世話をしてくれている寺子屋キッズです。みんな大きくなった！



Obrigado

目指せ、ご支援の輪100人！
国や国際機関の支援が難しいエリアこそ
一人ひとりのご協力が必要です。



銀行振込でのご寄付

銀行振込

三井住友銀行 天神町支店:717 (普)1920099
一般社団法人モザンビークのいのちをつなぐ会

※銀行振込された方は、ご寄付者の管理を正確に行うため、
enomegu@gmail.com までメールを頂けると助かります。



【オススメ】当会ホームページでのご寄付

寄付サイトを使うよりも手数料が安く、単発のご寄付・マンスリーサポーターにも対応！

単発も月々も、ダイレクトに、当会の活動を応援！



寺子屋マンスリーサポーター & 単発でのご支援

<https://www.tsunagukai.com/information/donation>



PayPal (ペイパル)

海外からのご寄付にも便利。

paypal.me/terakoya

https://paypal.me/terakoya?country.x=JP&locale.x=ja_JP



寄付サイトでのご寄付

インターネットで簡単にご寄付。信頼できる寄付サービスを利用しています。

寺子屋キッズを毎月支援する仕組み



【GoodMorning】マンスリーサポーター

社会問題と向き合う人のクラウドファンディング、
GoodMorningを通じたご寄付です。

<https://community.camp-fire.jp/projects/view/377263>



活動全般を都度や月、年とフレキシブルに応援



【シンカブル】単発・継続のご支援

公益活動を行う非営利団体のための寄付プラット
フォーム、シンカブルを通じたご寄付です。

<https://syncable.biz/associate/tsunagukai>



一般社団法人モザンビークのいのちをつなぐ会 (PVM)

e-mail enomegu@gmail.com / may@tsunagukai.com

【日本事務所】〒800-0233 福岡県北九州市小倉南区朽網西 3-12-6 Tel&Fax: 093-472-1444

【モザンビーク事務所】 Rua sem Saida, Bairro de Natite, Pemba, Cabo Delgado, Mozambique
Tel: +258-86-5130004, 87-7417034

<http://www.tsunagukai.com>



ホームページ



Facebook



Instagram